

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実							
施策	06 社会保障の充実							
基本事業	02 市営住宅の整備							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅

手段（事務事業の内容、やり方）

新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

新栄団地の建替を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市営住宅管理戸数	戸	1,223	1,223	1,263	1,219
対象指標2						
活動指標1	工事の進捗率	%	1	5.1	13.2	—
活動指標2						
成果指標1	住戸改善率	%	16.1	16.1	19.4	20.1
成果指標2						
事業費(A)		千円	39,291	265,726	622,726	352,325
正職員人件費(B)		千円	8,026	8,016	7,032	7,824
総事業費(A+B)		千円	47,317	273,742	629,758	360,149

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新栄団地B棟実施設計委託 ・新栄団地A棟建設工事（建築工事・各種設備工事）【H24-25継続事業】 ・新栄団地A棟入居者移転料 	<ul style="list-style-type: none"> ・新栄団地B棟実施設計委託 16,853千円 ・新栄団地A棟建設工事 597,834千円 ・新栄団地A棟入居者移転料 8,038千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 → 公営住宅法に基づき老朽化した建替事業を推進し、居住環境の整備を行わなければならない。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 → 少子高齢社会、人口減少時代を迎え、市民からの要望の高い低所得者向け住宅として市営住宅がもつ役割が大きくなっている。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 → 新栄団地A棟が竣工し、対象入居者の移転を行った。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 → 今後、計画に基づき事業を進めることで、成果が向上する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由 根拠 → 計画段階から実施段階に入り、建設コストがかかってくるが、効率的・効果的な建設手法等を検討し、必要最小限となるよう努めていく。